

## ベナン月報(2014年6月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 17日から19日、パリでベナン開発の資金調達のためのラウンド・テーブルが開催された。
- 20日、国民議会において、司法官のストライキを禁止する法案が提出された。これに対し、ベナン司法官全国同盟及び市民社会は、憲法違反であるとして、猛反発した。

#### 【外政】

- 26日、ヤイ大統領は、赤道ギニアの首都マラボで開催された第23回AU首脳会合に出席した。

#### 【経済】

- 11日、国内綿花関連企業5社が、ナゴ国民議会議長を訪れ、2014年度は綿花生産量自体は豊作であったにも拘わらず、これら5社はヤイ政権の綿花政策により多大な損害を被ったとして、綿花政策の不適切さを訴えた。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L' Evénement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙及び L' Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ 3日、ヤイ大統領は、ドナー諸国の代表を召致し、17日から19日までパリで開催予定の「ベナン開発のためのラウンド・テーブル」の説明会を実施した(4日、La Nation紙)。
- ・ 4日、パラクにおいて、4人のプル族の青年が農民やバイクタクシー運転手に対して強盗を働いたとして逮捕された(17日、La Nation紙)。
- ・ 7日、コトヌ市で、強盗を逮捕しようとした警官が、当該強盗に射殺された(10日、Le Matinal紙)。
- ・ 8日、昨今警察官が強盗等に殺害される事件が頻発していることを受け、ヤイ大統領は警察官を激励するためのワークショップを開催した(10日、La Nation紙)。
- ・ 9日、ナイジェリア国境、イゴロ(Igoro)において、並列型国境警察署(Poste de police juxtapose)の開所式が実施され、ウス(M.Francois HOUESSOU)内務・公安・宗務大臣が出席した(13日、La Nation紙)。
- ・ 13日、アボメイ高等裁判所において、隣人に呪い(gris-gris、約2万FCFA)をかけて殺そうとしたとして、アボメイ市在住の女性及び呪いを請け負ったとされる呪術師に対する審理が開始された(14日、La Nation紙)。
- ・ 16日、ゴドメーパウ間道路で交通事故が発生し、数名の死傷者を出した他、7時間に及ぶ大規模な交通渋滞を引き起こした(17日、Le Matinal紙)。
- ・ 17日から19日、パリで「ベナン開発の資金調達のためのラウンド・テーブル」が開催された(4日、La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 18日、コトヌ市警察は、7日に発生した警官殺しの主犯格の男を逮捕しようとして、銃撃戦に

なり、同男を射殺した(19日, La Nation紙)。

- 20日, 国民議会において, 司法官のストライキを禁止する法案が提出された。これに対し, ベナン司法官全国同盟(UNAMAB: Union Nationale des Magistrats du Bénin)及び市民社会は, 憲法違反であるとして, 猛反発している(21日, L' Evénement Précis紙)。
- 24日, パウ近郊でトラック2台が衝突し, 2名が亡くなった(25日, Le Matinal紙)。
- 25日, カンディ市郊外において, 省庁の公用車2台が強盗に襲われ, 公金約130万FCFAが盗まれた(26日, La Nation紙)。
- 26日, 「国際麻薬乱用撲滅デー」にあたり, コメでセレモニーが開催された。ベナンにおいても, 近年マリファナの栽培が増加していると言われており, また, ヘロインやコカインの密輸入も増加傾向にある(27日, La Nation紙)。

#### 【外政】

- 12日, 新しく大統領に就任したヴァス(M.José Mário VAZ)ギニア・ビサウ大統領がベナンを訪問し, ヤイ大統領と会談した(13日, La Nation紙)。
- 23日及び24日, ハイレマリアム(M.Desalegn HAILEMARIAM)エチオピア首相がベナンを訪問し, ヤイ大統領と会談した(23日, La Nation紙)。
- 26日, ヤイ大統領は, 赤道ギニアの首都マラボで開催された第23回AU首脳会合に出席した(27日, L' Autre Quotidien紙)。
- 30日, カナダの前総督で次期国際フランコフォニー機関の次期代表候補であるジャン(Mme Michaele Jean)氏がベナンを訪問し, ヤイ大統領と会談した(7月1日, La Nation紙)。

#### 【経済】

- 6日, UEMOAがベナン全土で100基の井戸を建設することを決定し, ヤイ大統領及びスマレ(M.Cheikhe Hadjibou SOUMARE)UEMOA委員長が署名式を実施した(10日, La Nation紙)。
- 10日, モロッコ人民銀行(Banque populaire du Royaume du Maroc)のイニシアティブで「モロッコ経済デー」がコトヌ市で開催され, 約100人のモロッコ人実業家が出席した。同会合では, 主にモロッコによる対ベナン投資について意見交換が行われた(10日, La Nation紙)。
- 11日, 国内綿花関連企業5社が, ナゴ(M.Mathurin Coffi NAGO)国民議会議長を訪れ, 2014年度は綿花生産量自体は豊作であったにも拘わらず, これら5社はヤイ政権の綿花政策により多大な損害を被ったとして, 綿花政策の不適切さを訴えた(16日, L' Autre Quotidien紙)。
- 14日, Maersk社のWafmax号がコトヌ港に接岸し, ヤイ大統領及びシャンタル夫人が同船を出迎えた。同船は全長249, 1m, 4,500TMのコンテナの大型船であり, 西アフリカ・アジア間貿易の起爆剤となることが期待されている(16日, L' Evénement Précis紙)。
- 18日, 草の根・人間の安全保障無償資金協力「メノタン病院手術室機材整備計画」の引渡式が実施された(19日, La Nation紙)。

- 22日、クウェートのNGO、Directaidがコメで「クウェート国際大学」を建設する旨決定し、同大学の定礎式が実施された。かかる定礎式には、アビオラ(M.Francois Adebayo ABIOLA)高等教育・科学研究担当国務大臣が出席した(23日、La Nation紙)。
- 23日から26日、トルコのイズミル市商工会議所の実業家らがベナンを訪問し、ベナン人実業家らと第2回ベナン・トルコ貿易・投資フォーラムを実施した(25日、La Nouvelle Tribune紙)。
- 25日、ソグロ・コトヌ市長がコトヌ市の衛生改善に関するワークショップを開催した。同市によれば、コトヌ市では毎日700トンのゴミが出ており、そのうち500トンは適切に処理されず放置されている由(25日、L' Autre Quotidien紙)。

(了)